



福井源乃介議員

大津勘橋の早期改修は。

町長線形及び工法等に着手する。

町道の知名・正名海岸線（小田線）は現在、屋子母集落を中心に住吉方面に向けて改良工事が行われています。しかし、最大の難所、危険箇所は大津勘橋である。計画を見直して、今期の製糖終了後から工事着手すべきではないか。



早急な整備が必要。「大津勘橋」

町長 現時点での改良計画は、屋子母海岸入り口までとなっており平成26年度予

算で完了予定となっている。平成27年度から大津勘橋を含めた屋子母く住吉間の改良事業について、線形及び工法等の検討に着手する。

工法については、暗渠を通して埋め立て高低差のないフラットな安心安全な道路にすべきではないか。

町長 大津勘橋は2車線が確保できないこと、橋の前後にカーブや勾配区間があり見通しが悪いことから、橋に代わる構造物による事業実施を検討する。

田皆地区においてこれまでの苦情に加えて、水洗トイレの石灰つまりや洗濯機のフィルターのつまりがひどいとの報告がある。水道水の硬度低減事業を導入すべきではないか。

町長 田皆地区においては非常に硬度が高く石灰つまりがでている。水道管の敷設等を行い字内にドレン弁を取り付け、石灰を吐かす作業を行っている。また、上城配水池より応援給水を行っている。水道水の硬度低減事業には約17億円の事業費を要するため早期の事業着手は困難である。引き続き国や県に働きかけて、補助対象外工事も含めた補助事業を検討していく。

町長 田皆地区においては非常に硬度が高く石灰つまりがでている。水道管の敷設等を行い字内にドレン弁を取り付け、石灰を吐かす作業を行っている。また、上城配水池より応援給水を行っている。水道水の硬度低減事業には約17億円の事業費を要するため早期の事業着手は困難である。引き続き国や県に働きかけて、補助対象外工事も含めた補助事業を検討していく。

少子化・子育て支援策については、知名町子ども子育て会議で活発な議論がされていると思うが、私の提案である。子ども医療費の全世帯における無料化及び保育園・幼稚園の保育料の無料化への取り組みは。

町長 子ども医療費の全世帯における無料化については、これまで対象年齢を乳幼児から中学校修了前まで引き上げてきました。また、課税世帯においては、月額3000円の負担から1000円のみ負担に条例改正して医療費の経済的負担軽減を拡充してきた。全世帯における無料化は、今後とも子育て支援対策の中で

検討する。また、保育料の無料化については、受益者負担の観点及び本町の財政状況では、保育料の無償化は厳しいものである。

子育て支援計画に向けた進捗状況は。

町長 「新システムに関する基本制度」を決定、平成27年度から子ども・子育て支援は新制度へ移行する。また、今後5年間の子ども・子育て支援計画策定に向けて、第4回子ども・子育て会議で決定することとなっている。関係する議案については、12月議会定例会に



子ども・子育て会議の一場面

において関係条例案、平成27年3月議会定例会において子ども・子育て計画を提案して審議していただく予定となっている。

人口を増やす対策として、移住定住・若者の流出防止の為に役場職員数を現在の135名から増やすべきではないか（財源は町3役の給与カット分・議員定数2減分平成24年執行・来年度から国の方針である地方公務員の給与2%カット分等）。

町長 多様な行政需要を踏まえ、各種施設を展望して最小の経費で最大の効果を生み出すための職員数を常に考えて、定数管理を行っている。職員数の増については、それらを踏まえたうえで必要に応じて検討する。

地域おこし協力隊事業導入の考えはないか。

町長 地域外の人材を積極的に誘致して、定住定着を図ることで住民ニーズに応えながら、地域の維持・強化を図ることができる。ただ、事業導入については、本町の課題等を精査しながら検討する。